

神奈川県内科医学会
第74回定時総会学術講演会

神奈川県肝炎対策委員会

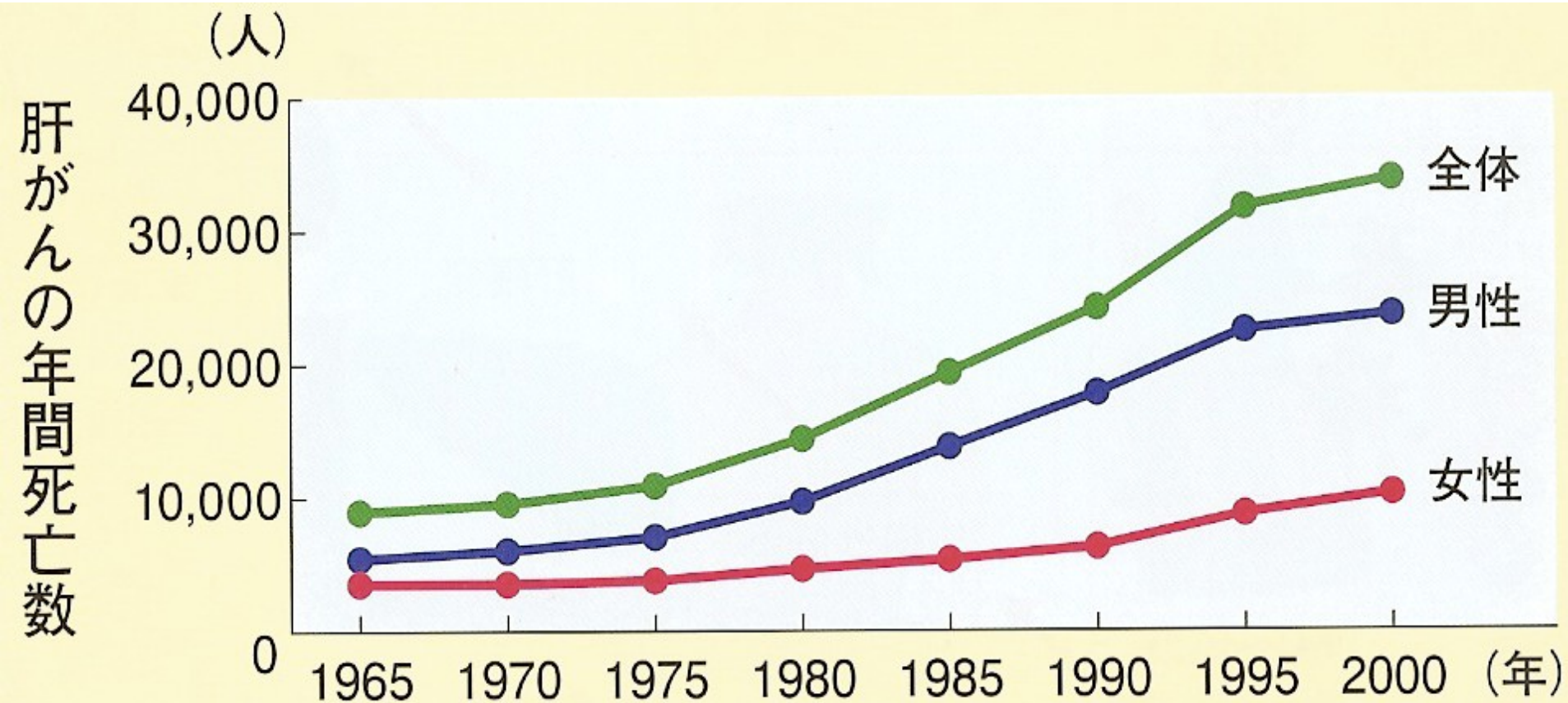
2008年5月17日

パシフィコ横浜アネックスホール

神奈川県肝炎対策委員長 岡 正直

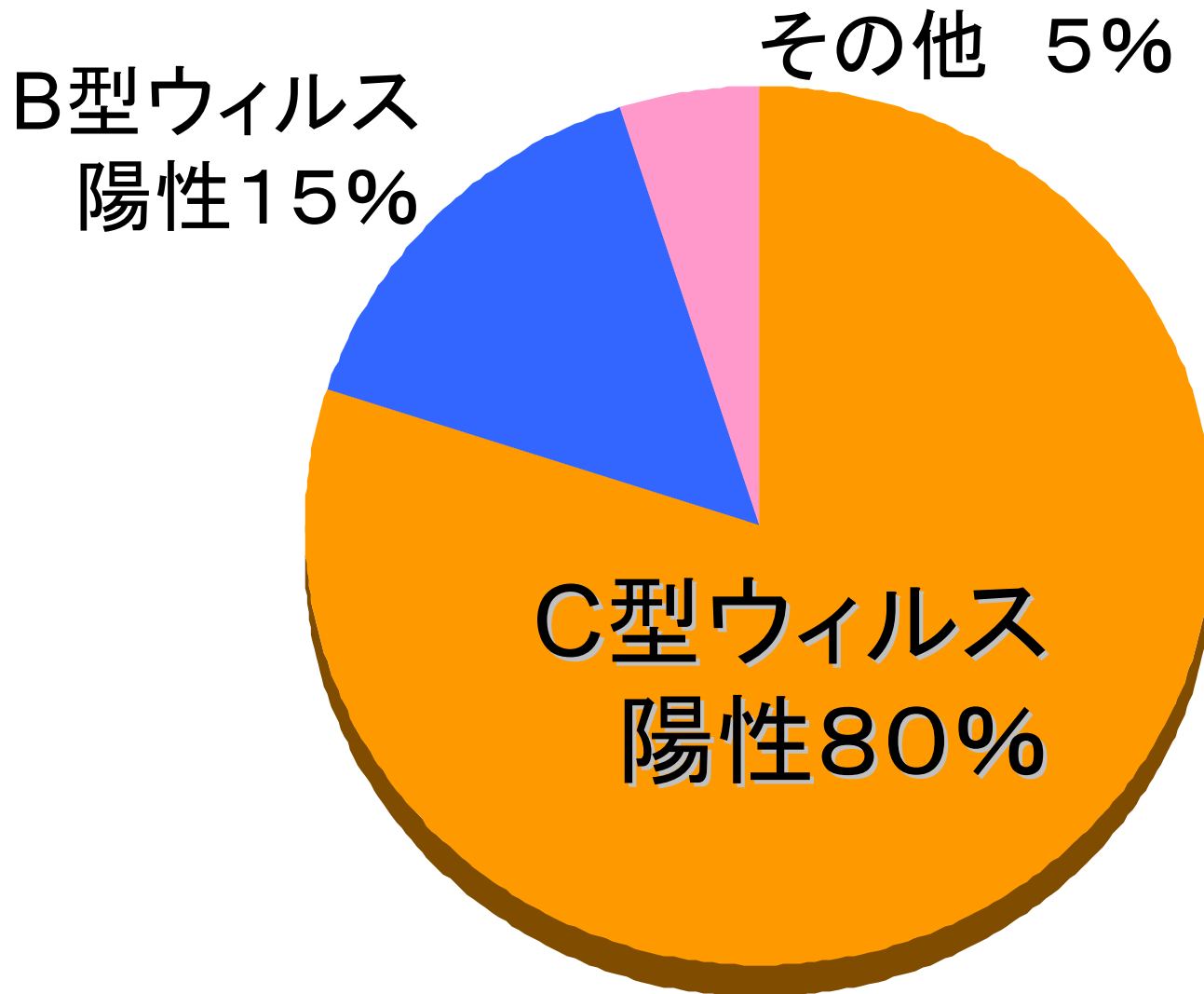
慢性肝炎・肝硬変と肝がん

毎年3万人が肝がんで死亡

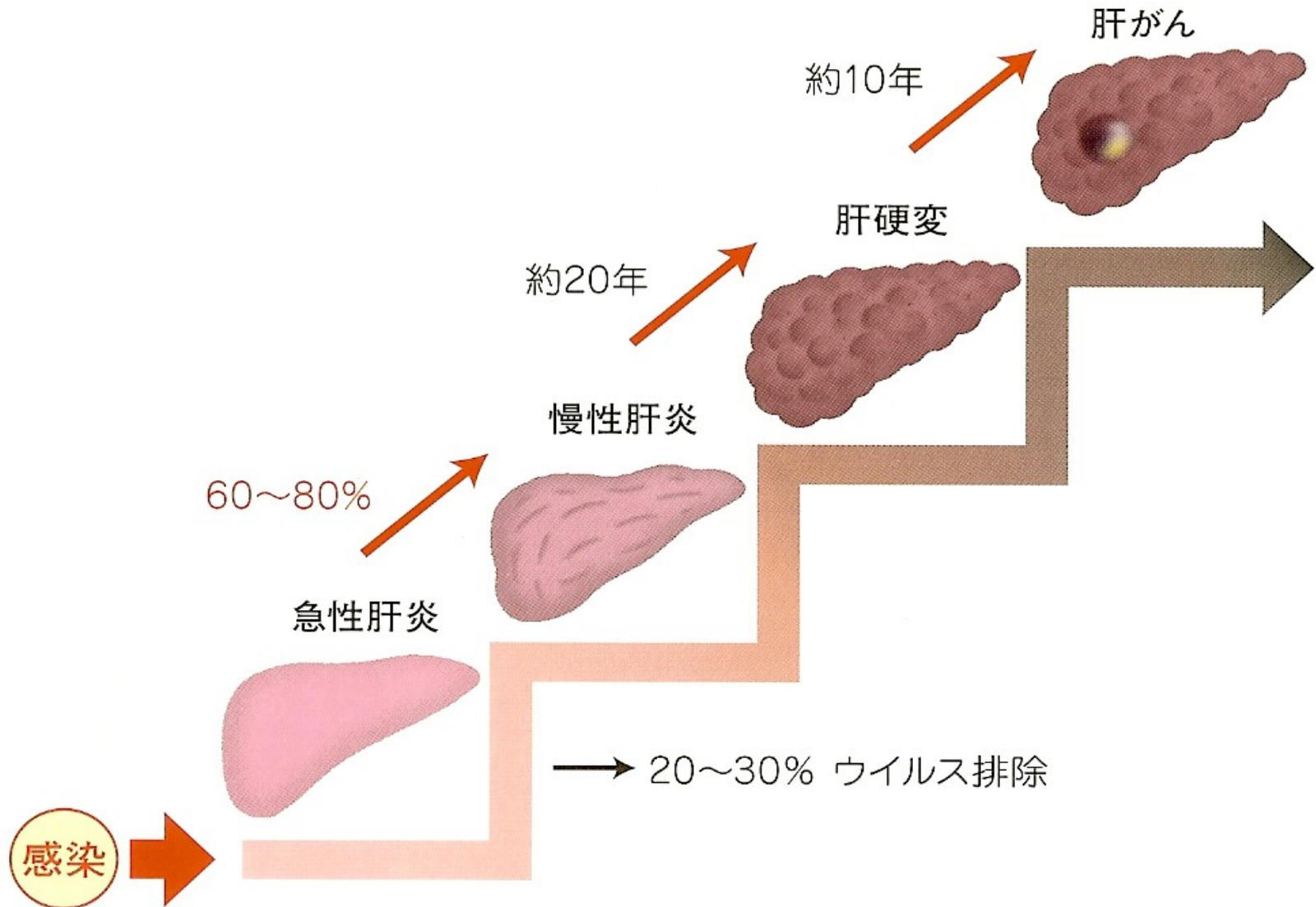


肝がん死亡の原因

80%はC型慢性肝炎による



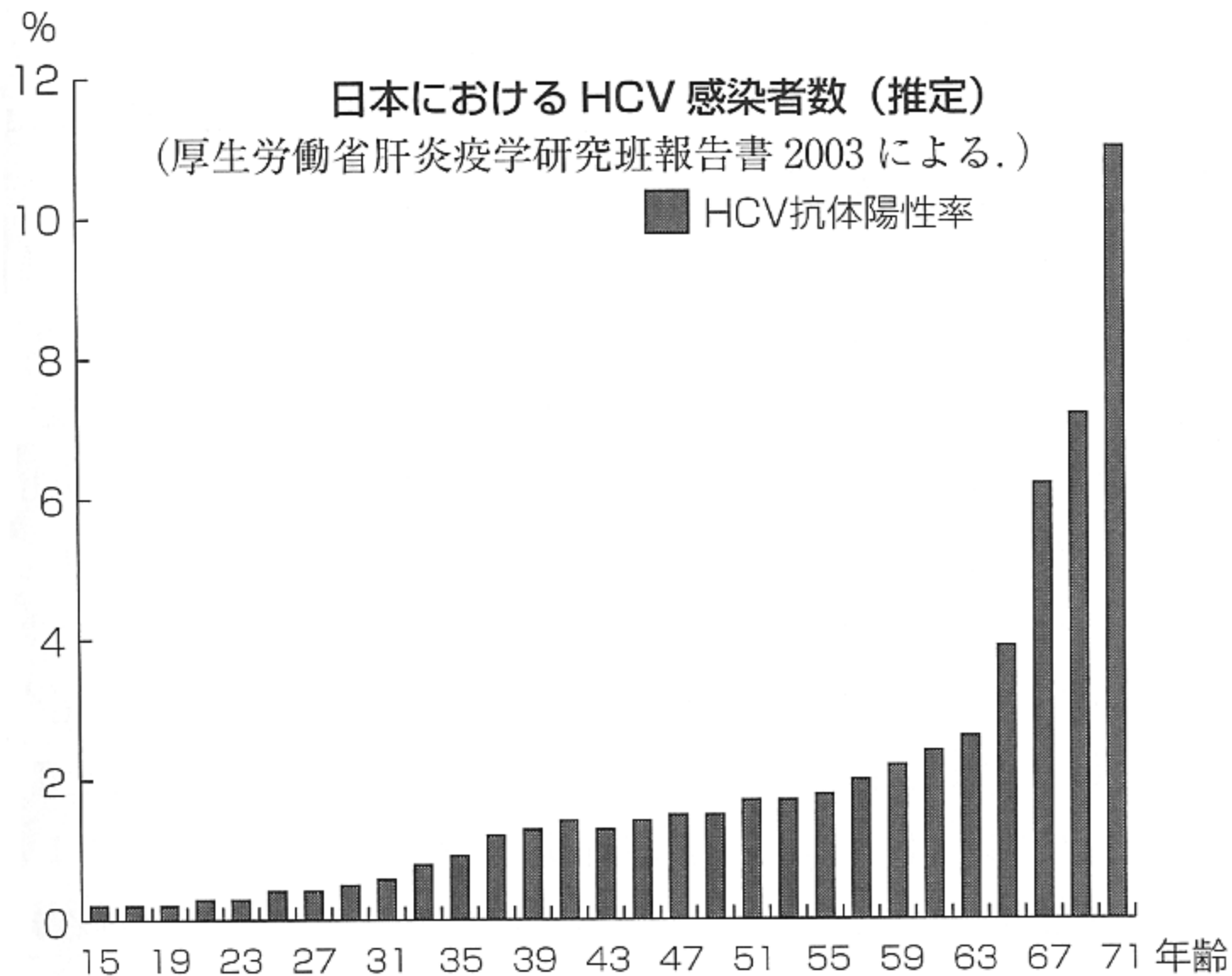
慢性肝炎・肝硬変から肝がんへ



C型肝炎感染者数

- 世界人口の約3% 約1億3千万人が感染
- わが国では**200万人**の感染者の存在が推定
- HCV陽性率 年齢階層で大きな違い
 - 20歳未満では0.2%
 - 50歳以上では3.9%
 - 70-72歳では11%**

※HCV(Hepatitis C Virus) 「C型肝炎ウイルス」のこと



厚生労働省 C型肝炎疫学研究班2003
 日赤血液センター 初回献血者 1995.1~2000.12
 3,485,648人 2000年の時点の年齢に換算

C型肝炎ウイルス検査

神奈川県 節目検診

	対象者数	受診者数	受診率	陽性者数	感染率
平成15年度	266,690	50,803	19.0%	569	1.12%
平成16年度	180,099	50,118	27.8%	419	0.84%
平成17年度	222,445	45,947	20.7%	390	0.85%
総数	669,234	146,868	21.9%	1,378	0.94%

約1%にHCV陽性

- 全国民に対する神奈川県民数
880万人(7.3%)
- 40歳以上の人口 490万人
- 感染率1% 4.9万人

C型慢性肝炎・肝がん診療におけるポイント

- 自覚症状に乏しいため、患者自身が感染に気づいていない。そのため医療機関によるコントロールを受けていない患者が、多数存在。
- 肝がんは慢性肝炎・肝硬変から発生する。
- 最近の急速な治療の進歩により、慢性肝炎は治癒しうる疾患となってきた。肝がんの治療も効果的に行えるようになった。

肝がん撲滅のために

最新の肝炎・肝がん診療の
知識を広める・深める

地域における一般開業医と
専門病院との病診連携

肝がん撲滅を目指す 病診連携の会

- 第1回 2004年 6月26日 新横浜
- 第2回 2004年11月26日 川崎
- 第3回 2005年 6月18日 横須賀
- 第4回 2005年11月19日 平塚
- 第5回 2006年 6月17日 相模大野
- 第6回 2007年 6月16日 横浜
- 第7回 2007年12月1日 川崎

2008年6月28日

(土)

第3地区にて開催

第8回

肝がん撲滅を目指す病診連携の会

肝がん撲滅を目指す病診連携の会世話人

● 代表世話人

元神奈川県立がんセンター顧問	多羅尾和郎
神奈川県内科医学会会長	中山脩郎

● 世話人

済生会横浜市南部病院院長	保坂洋夫
昭和大学藤が丘病院教授	与芝真彰
市民総合医療センター教授	田中克明
東海大学医学部教授	峯 徹哉
北里大学医学部講師	渋谷明隆
聖マリアンナ医科大学教授	伊東文生
神奈川県内科医学会担当副会長	中 佳一
神奈川県内科医学会肝炎対策委員	

(順不同・敬称略)

肝がん撲滅を目指す病診連携の会 共催メーカー

- シェリング・プラウ株式会社
- 田辺三菱製薬株式会社
- 株式会社ミノファージェン製薬
- ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

神奈川肝炎対策委員会

会長：中山脩郎、 担当副会長：宮川政昭

委員長：岡 正直（横浜市）

委員：多羅尾和郎（横浜市）

小林明文（川崎市）

伊東高仁（逗葉）

梶原光令（平塚市）

沓掛伸二（相模原市）（敬称略）